

花の輪



新春のつと

1月19日(土)
近江八幡市立桐原小学校にて

毎年恒例の女性部新春のつと。今年は、新築3年目の桐原小学校の明るく美しい音楽室に34名の仲間が集いました。スタディタイムとお食事会、各分会からの出しものの交流、生け花のプレゼントと、盛りだくさんかつ心温まるひとときを過ごしました。



スタディタイム



わ音さんコンサート

今年のスタディタイムは、天使の歌声とギターデュオ『わ音』さんによるコンサート。ボーカルとピアノを担当した森野さんは全盲です。幼いころは、目の見える他の子ども達といっしょに過ごすしんどさを感じながら保育園に通っていたそうです。小学校からは盲学校で仲間ができていきました。盲学校卒業後、保育園の友だちが「ぜひ成人式で歌って！」と声をかけてくれて、森野さんは『手紙』を保育園の時の友だちといっしょに歌ったそうです。人と人が子ども時代に出会える縁、子どもが持つ人とつながる力、すてきななと思いました。

自立できるのか不安いっぱいだった中学高等部時代の気持ちを作詞した『大丈夫』を聞かせてもらい、子ども達の成長に関わっている私たちの仕事の尊さに改めて気づくことができました。ギターの井上さんがおっしゃったように、「いっぱい人に助けてもらいながら、しかし、反対に、だれかの役に立てるように生きていきたい」と思いました。コンサートの間じゅう、つながりの大切さを思い心が清らかになっていくように感じたコンサートでした。

わ音さん、そして一緒に演奏を聴いたみなさん、すてきな時間をありがとうございました。

《参加者の声》



わ音さんのコンサート本当に感動しました。普段悩んでいることやしんどいなあと思っていることや自分の在り方みたいなことなど、ふわっと包み込んでくれる様な気持ちになりました。ありがとうございました。

森野さんのすんだ歌声と井上さんのやさしい歌声のハーモニーに心いやされました。自然と涙がいっぱい出ました。これって感動ですよ！有名な歌手のステージでもこんなに涙することは今までにありませんでした。2人の持つ優しさ、集まった先生方の優しさが1つになった感覚を味わいました。



＜ランチタイム&交流会＞

スタディタイムのあとは、お待ちかねのランチタイム。おいしいお弁当に、各分会からの出しもの。新旭養護学校の「音楽づくり」の出しものでは、「ほっ」、「ほっ」、「ほーっ」や「パン」、「パン」、「パン」などの音をつなげ、みんなで1つの曲にしました。参加者の日頃の思いや新年の抱負を聞き、分会仲間のつながりや組合女性部のパワーを感じる有意義な時間となりました。楽しい出しものをそれぞれに用意していただきありがとうございました。2019年、温かいスタートがきれました。



《参加者の声》

介護も仕事もどちらも中途半端で、何か役に立っているのだろうか…と自信もなくなるばかりですが、今日も来て新しい風をいただきました。またスタートが切れそうです。組合に入っていて本当によかった、そう思う毎日です。

歌や出しもの、とても感動しました。日々、業務に追われ、心身共に疲れていましたが、語り合いとてもリフレッシュになりました。たくさん学んで、人との輪を大切にしていきたいです。

現在、育休中ですが、声をかけていただき参加させていただきました。心にしみわたる歌声のコンサートで、とても感動しました。現在2人目を授かり、お腹に子どもがいますが、子どもも嬉しかったのか、よく動いていました。とってもいい胎教になりました。コンサートだけでなく、途中のお話や皆さんの出しもの、お話にも学ぶところがたくさんあり、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。